

1. 日 時 平成28年1月8日(金) 午前9時53分～午前10時41分

2. 場 所 日光市役所本庁舎3階 正庁

3. 出席者

【構成員】

日光市長 斎藤 文夫

教育長 前田 博、教育委員 川津 博子、教育委員 横山 真康

教育委員 菅野 幸美、教育委員 高井 孝美、教育委員 手塚 美智雄

【出席を依頼する職員】

企画部長 大島 公一、教育次長 菊地 美栄

学校教育課長 久保 吉幸、生涯学習課長 井澤 雷二

文化財課長 新部 千代子、スポーツ振興課長 木野内 毅

中央公民館長 佐藤 英男、日光足尾教育行政事務所長 茅根 由美子

藤原栗山教育行政事務所長 八木沢 利裕

学校教育課長補佐 増渕 みゆき、スポーツ振興課長補佐 山本 洋一

生涯学習課主幹兼社会教育主事 武田 昌佳

スポーツ振興課副主幹 阿久津 直人

【事務局】

総合政策課課長補佐兼政策調整係長 本間 佳夫

政策調整係担当係長 斎藤 良介 政策調整係副主幹 北村 賢一

政策調整係副主幹 和田 直樹、政策調整係主査 星 善丈

【傍聴者】 0名

【報道機関】 0名

4. 内 容

(1) 開会(本間総合政策課長補佐)

(2) 市長あいさつ

新年、あけましておめでとうございます。

本日は、お忙しい中、平成27年度第3回日光市総合教育会議にご参集いただき、ありがとうございます。

また、委員の皆様には、日ごろから当市の教育行政に対し、深いご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、総合教育会議につきましては、今回で3回目の開催となります。

前回は、当市の教育に関し、予算の方針をはじめ、生涯学習に関する各計画をご協議いただきました。

その中で、委員の皆様からの積極的な提言等をいただいたところであります。

本日は、第1回総合教育会議において協議いたしました日光市教育施策の大綱の見直しと、日光市スポーツ推進計画素案の2件についてご協議させていただきます。

日光市教育施策の大綱の見直しにつきましては、本大綱が、日光市総合計画と密接な関係

があり、去る12月議会において平成28年度からの第2次日光市総合計画が議決されたことに伴い、この内容を反映した大綱に見直しをしようとするものであります。

また、日光市スポーツ推進計画素案につきましては、現在の「日光市スポーツ基本計画」の計画期間が本年度で終了となることから、社会環境変化による多様なニーズに対応し、スポーツの力による活力あるまちづくりを目指し、新たな計画を策定しようとするものであります。

以上2件につきまして、慎重なるご協議をお願いし、ごあいさつとさせていただきます。

(3) 会議の運営事項について

(議事進行については、日光市総合教育会議運営要領第4条第4項の規定に基づき、市長が議事進行を行う。)

・非公開の発議について

⇒発議なし

・市長部局職員及び教育委員会事務局職員の会議出席について

⇒出席を許可

・運営要領に基づく議事録署名委員2名の決定について

⇒横山委員、手塚委員に決定

(4) 協議・調整事項

○日光市教育施策の大綱の見直しについて

・学校教育課長から、「資料1 『日光市教育施策の大綱』の見直しについて」に基づき説明し、日光市教育施策の大綱の見直しについて承認を求めた。

⇒原案のとおり決定(語句の説明を追加)

【質疑応答】

<高井委員>

1ページ、現行の「基本目標6」の青少年の健全育成の分野を「基本目標1」の生涯学習分野へ統合した理由は。5ページ、「基本目標3」の「生きる力」は教育分野で一般的に認識されているものか。案の作成はどのような手順を踏んで作成されるのか。

<生涯学習課長>

今回の総合計画の中で、分野をコンパクトにしたいという意向があり、青少年の健全育成については、内容が少年補導、PTA、子ども会といった地域とともに青少年を健全育成する分野であり、生涯学習分野の人づくり・地域づくりに含まれることから、生涯学習分野へ統合した。

<生涯学習課武田主幹>

「生きる力」については、文部科学省で生きる力の育成ということで定義付けをしている。具体的には確かな学力の定着、豊かな心の育成などを総合して「生きる力」としている。

<学校教育課長>

総合計画の策定プロセスの中で、庁内での検討を行うとともに、パブリックコメントを経たうえで、文言等の調整を行っている。

<高井委員>

「生きる力」については、説明書きが必要ではないか。

<教育長>

日光市教育施策の大綱の5ページ、施策の方向の下段に「生きる力」の解説を入れる。

<市長>

青少年の健全育成分野については、生涯学習分野への統合により、さらに推進することができるということが読み取れるようにするべきではないか。

<川津委員>

6ページ、⑤学校環境の整備の中で、学校施設における長寿命化等を推進しとあるがうまく意味がつかめない、説明をお願いしたい。8ページ、②幼児教育支援体制の充実と推進についての項目が改正案で削除されている理由は。

<学校教育課長>

長寿命化については、今ある学校施設を建て替えるのではなく、改修するなどして施設を有効に活用するという意味。語句の注釈を入れる。

<生涯学習課長>

幼児教育については、支援に反映されており、家庭教育を今後充実させるとしている。

<川津委員>

幼稚園・保育園との交流、連携はあったのか。

<学校教育課長>

幼稚園・保育園との交流、連携は実施している、今後も継続して実施する。幼児教育については、子育て分野で重点的に施策として展開するのが望ましいため、教育分野からは除いている。

○日光市スポーツ推進計画素案について

・スポーツ振興課長から、「資料2 日光市スポーツ推進計画素案について」に基づき説明し、日光市スポーツ推進計画素案にかかる承認を求めた。

⇒原案のとおり決定

【質疑応答】

<高井委員>

スポーツ振興は大きな比重を占め、イベントも多い、計画を推進するにあたり現在のスポーツ振興課の人員は足りているのか。

<市長>

他の分野にもあてはまるが、職員が全てを行う訳ではない、他の団体等と一体となっ
て行う。今の人員体制の中で進めていく。

(5) 報告事項

なし

5. その他

なし

6. 閉 会 午前10時41分終了